

# 避難生活の実態に関する アンケート調査 結果報告

実施期間：2012年8月8日～8月30日

方 法：避難者・原発事故被害者に対する郵送調査

回 答 数：88人

＜調査実施団体＞



東京災害支援ネット

(とすねっと)



当団体は、主に都内で東日本大震災の被災者を支援する活動に携わっている弁護士・司法書士・市民等のボランティア・グループです。インターネット（ブログ）やニュースレター「とすねっと通信」などを通じて、被災者に必要な情報を提供したり、避難所や電話での相談活動を行っています。

広域に避難する多くの家族には、地元と避難先に家族が分かれて暮らし、二重生活となっている世帯も多くあります。ただでさえ経済的な負担を強いられているところ、政府は、高速道路の無料措置を打ち切るなど、さらに避難者に対し負担を強いています。住居の問題や被曝・健康の問題で改善を求める声も聞かれます。しかし、「原発事故子ども被災者支援法」には具体的な支援策の規定はなく、そのままでは何も変わりません。事態を早急に改善する必要があります。

そこで、とすねっとでは、主に東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難されている方々を対象に、避難生活等の実態についてアンケート調査を実施することと致しました。調査は、2012（平成24）年8月8日から30日まで行われました。アンケートは、高速道路問題、住宅問題、健康・医療、生活費像、子育て等の住民サービス、就労問題など多岐にわたり、その結果は避難生活の実態を反映したものとなっています。記述欄には、多くの避難者・原発事故被害者の声が集まりました。

アンケートの結果に基づき、9月6日に衆議院第1議員会館で開かれた院内集会「区域外も高速無料に！原発被害者支援の具体化を求める院内集会」（福島原発事故被害者有志、東京災害支援ネット（とすねっと）主催）において、政府に対する要望書が採択され、政府に提出されました。

避難生活の実態を詳らかに明らかにした本アンケート結果をもとに、避難者・原発事故被害者にこれ以上苦しい思いをさせないよう、適切な政策決定をしていただきたいと思います。

2012年9月

東京災害支援ネット（とすねっと）  
代表 森川 清（弁護士）



◆ 集計結果.....	2
1. 回答者の基礎データ（避難元、避難先、年代、性別等）.....	2
2. 住宅問題について.....	3
3. 高速道路問題について.....	5
4. 健康問題について.....	6
5. 生活全般について.....	10
6. 帰還について.....	15
7. 除染について.....	17
8. 政府に対する要望（自由記載）.....	19
◆ 配布したアンケート.....	28

## ◆ 集計結果

配布枚数 234 枚

※%は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もあります。

### 1. 回答者の基礎データ（避難元、避難先、年代、性別等）

(1) あなたは、原発事故による避難者ですか？ 避難元（地元）及び避難先の市町村はどこですか？ あなたと一緒に避難している家族の構成を教えてください（具体的に）。なお、区域の種別も教えてください。

原発避難者89% 原発避難者以外の被災者8% 無回答3%

避難元 福島県88%（いわき市24%、福島市15%、南相馬市13%、浪江町10%、富岡町6%、大熊町6%、郡山市5%、楢葉町5%、広野町2%、その他3%）

宮城県2% 栃木県1% 無回答9%

避難先 東京都56% 山形県16% 山梨県15% 千葉県3%

宮城県1% 京都府1% 福島県1% 無回答7%

区域の種別 区域外45% 警戒区域17% 旧緊急時避難準備区域10% 避難指示解除準備区域6%  
帰還困難区域3% 居住制限区域1% その他・無回答17%

回答者の年代 20代以下3% 30代31% 40代19% 50代以上32% 無回答15%

回答者の性別 男性23% 女性68% 無回答9%

一緒に避難している家族がいると答えた人 78%

「一緒に避難している家族」の中に子供を含む人 59%

「一緒に避難している家族」の中に配偶者を含む人 35%

アンケート回答者と子供のみで避難している人 35%

一緒に避難している子の年齢等（回答者の子ののべ人数に対する比率）

内訳 未就学児46% 小学生35% 中学生11% 高校生5% 大学生1% 社会人1%

<コメント>中学生以下で9割を超える

(2) 避難によって、避難前に同居していた家族と離れなければならないになっていますか？ はいと答えた方は、離れて暮らす家族とその方の今の滞在市町村も教えてください。また、あなたの現在の滞在地はどちらですか？

離れて暮らしている家族の有無

ある56% ない35% 無回答9%

⇒「区域外」の人に限ると ある73% ない23% 無回答5%

離れて暮らしている家族の属性（上記で「ある」と回答した人に対する比率／複数回答あり）

内訳 夫51% 親・配偶者の親31% 子6% その他22%

離れて暮らしている家族の滞在場所（上記で「ある」と回答した人に対する比率／複数回答あり）

内訳 福島県80%（いわき市43%、福島市16%、郡山市6%、その他14%）

宮城県12% 東京都2% 群馬県2% 栃木県2% 千葉県2% 青森県2% 京都府2%

## 2. 住宅問題について

### (3) 避難先の住居について教えてください。

#### 住居の種類

公営住宅 50% 民間借上住宅 24% 雇用促進住宅 7% 国家公務員宿舎・旧公務員住宅 6% その他・無回答 14%

#### その建物は何階階建てか

5階建て以下 36% 6階建て以上 45% 無回答 18%

#### エレベーターの有無

5階建て以下 内訳 あり 3% なし 91% 無回答 6%  
6階建て以上 内訳 あり 100%

#### 築年数の平均 14.8年

#### 1軒あたりの部屋数 2.6部屋

### (4) 避難先の住居に日常生活に必要な以下の設備が備え付けてありましたか？(あったものに○、なかったものに×を付けてください)

また、日常生活で必要だが、備え付けてなかったために購入したものはありますか？

カーテン	あり 45%	なし 42%
蛍光灯	あり 76%	なし 11%
ガスレンジ・ガス台・ガスコンロ	あり 73%	なし 16%
テーブル	あり 6%	なし 81%
いす	あり 6%	なし 80%
洋服ダンス	あり 16%	なし 73%
風呂	あり 85%	なし 2%
風呂用給湯器	あり 81%	なし 2%
シャワー	あり 81%	なし 7%
流し用給湯器	あり 70%	なし 13%
エアコン	あり 64%	なし 20%
その他の暖房器具	あり 2%	なし 60%

⇒「あり」が過半数……蛍光灯、ガスレンジ・ガス台・ガスコンロ、風呂、風呂用給湯器、シャワー、流し用給湯器、エアコン

⇒「なし」が過半数……テーブル、いす、洋服ダンス、エアコン以外の暖房器具

<コメント>なかった物についてはほぼ既に購入したと思われる(次項参照)。

⇒「最初から備わっていたもの」は、住宅によって差がある。

ex. シャワー「あり」	雇用促進住宅では 29%	公営住宅では 89%
流し用給湯器「あり」	雇用促進住宅では 14%	公営住宅では 80%
エアコン「あり」	雇用促進住宅では 14%	公営住宅では 64%

購入したもの（複数回答あり）

棚・タンス等の収納関係 50%  
テーブル、こたつ等 45%  
食器、調理器具、レンジ・炊飯器等の調理家電 38%  
いす、ソファ 23%  
ストーブ、ヒーター、ホットカーペット等冬物家電 20%  
カーテン 18%  
扇風機 17%

⇒なお「すべて」「生活用品一式」と回答した人も9%いた。

**(5) 住宅設備について、困っていること（階段の昇降が大変、シャワーがない等）、不足している、または、欲しい物はありますか？  
ある場合、具体的に教えて下さい。**

困っていることがある 55%      ない 33%      無回答 12.5%

「困っていること」（複数回答あり。％にすると少ないが、他にも同様のコメントがあったものは「他あり」と記載した）

(40代・男) 階段の昇降が大変（4階以上に住む人からの声）。→同旨7%

(30代・女) 現在妊娠7か月なので、今までのシャワーは欲しいと思っていましたが、なおさら必要になってきました（シャワーが必要という声は他にもあった）。

(30代・女) 障害者物件なので流しが低く、腰が痛い。

(30代・男) 浴槽が狭い。洗面所と風呂場が一緒。

(30代・女) お風呂の水はけが悪い。

(30代・女) 風呂・トイレが不潔。

(30代・女) 排水溝の臭いがきつい。

(30代・女) 水道設備が古いため、冷水、温水の調整がうまくいかない。

(40代・女) 古い建物なので、洗面台がとても古く使いづらい。

(40代・女) キッチンのガス栓が腐食していて怖い。漏れのないことは確認してもらったが内部が腐食しているのでいつまで持つか心配。

(30代・女) 風呂の追い焚きができないため、風呂がすぐに冷めてしまう（他あり）。

(50代以上・男) 狭い。→6%

(30代・女) 物置がない（他あり）。洗濯物を干す場所が狭い（他あり）。日当たりが悪い（他あり）。

(50代以上・女) 自宅の一戸建てのように家具を置けず、我慢しているのでストレスを感じる。

(40代・女) 自転車置き場がぎゅうぎゅうで置ききれず、5階まで子供自転車を毎回階段でもって行っている人もいる。

(30代・女) 週末、夫が会いに来てくれても、車を停める駐車場がない（他あり）。

(20代以下・女) エレベーターの動きがとても遅い。夜中は各階に止まるためとても大変。防犯上もどうかと思う。

(30代・男) 1階なのでプライバシーの問題がある。

(30代・女) エアコンのない2室は夏場は使用できないほど暑い（他あり）。うまく換気も除湿もできずカビが心配。

(20代以下・女) 暑い。でも電気代も気になる。

(30代・女) 自治会費が高い。

(30代・女) 壁が薄く、隣の音がよく聞こえる。特に、朝から子供が走っている音（騒音につき他あり）。

(30代・女) 網戸が粗く蚊が部屋に入る穴もある。大家さんに言ってもテープを貼るくらいの処置。網戸が開けづらく、よく外れる。

(30代・女) 雪がすごく除雪も大変だった。スコップ、暖房機器、灯油を買ったため、福島にいるときよりもお金がかかった（他あり）。

(50代以上・女) 手すりもない所で、強風のときに階段で2回も頭を打って、病院で検査等した。建物が斜めになっている。

(50代以上・男)（備付であった）ふとんは、ダニが発生して困っている。

(50代以上・男) 仮住まいのため荷物は最小にしておいたほうがよいと考えているため、タンス、食器棚等購入できず不便（他あり）。

「欲しい物」として書かれたもの（複数回答あり）

子供のせ自転車	子供の自転車・ヘルメット	自宅の近くの駐車場	スロープ	カメラ付きドアフォン	ソファ
浄水器	プリンター	茶ダンス	テーブル	温水便座	ベッド
洋服ダンス	食器棚	シャワー	ジュース		いす
エアコン	食器棚など収納品	こたつセット・布団等	（東京都でくれたが、薄くて冬場とても寒い）		

(6) (みなし) 仮設間での住宅の移動の希望はありますか？また、移動を希望する場合の理由を教えてください。

希望する 34% 希望しない 44% 無回答 22%

「移動を希望する理由」（複数回答あり）

- (30代・女) アトピーがひどく、冬場の湿度とかびのせいで顔がボコボコになるから。
- (30代・女) 福島から知人がいない千葉で暮らすこととなり、親戚や友人と離れ離れに！
- (50代以上・男) 福島へ帰りたい。近くに帰りたい（他あり）。
- (30代・男) 実際は1Fや2Fに住みたいですが、このおなか（注・妊婦さんによる回答）では無理かと思い、あきらめています。
- (50代以上・男) 今いる住宅が小さいため、2DKの住宅に移りたい。→同旨 10%
- (30代・女) これからの生活の方向性が決まると、他に移って腰を据えて生活をしていきたい。
- (50代以上・男) 妻の実家（足立区）の両親介護に便利な場所を希望。
- (30代・女) 線量の低いところへ（他あり）。
- (40代・女) 震災から1年以上たって子供の進学で通学に時間がかかるため。→同旨 6%
- (30代・女) 食べ物が安全なところへ。
- (40代・女) 2年後には出なければならぬと言われてるので、子供の小学校入学前に長く居られそうな住宅に移動したい。
- (40代・女) 土避難者との集まりとか交流も少ないので、近所にそういう場がある所がよい。

### 3. 高速道路問題について

(7) 離れて暮らす家族と再会するための今の交通手段は？3月までと変わりましたか？（離れて暮らす人の総数に対する比率）

現在の交通手段（複数回答あり）

車（自家用車）73% 電車（鉄道）33% バス 28% 無回答 2%

今年3月までの交通手段（複数回答あり）

車（自家用車）63% 電車（鉄道）22% バス 14% 無回答 22%

⇒<コメント>今年3月までの交通手段は、無回答が2割以上あるため、データの解釈が難しい。3月までの交通手段を回答した人の中では車が82%を占めていたので、自家用車の利用者は3月以降やや減った可能性がある。

(8) 区域外避難者に対する高速道路の無料措置が今年4月に打ち切られ、離れて暮らす家族と会う回数はどうなりましたか？

減った51% 変わらない39% 増えた0% 無回答10%

会う回数

3月以前 平均1か月2.7回

現在 平均1か月1.4回

(9) 今年4月以降、離れて暮らす家族と会うための交通費はどうなりましたか？

増えた47% 減った0% 変わらない43% 無回答10%

平均増加額

増加額を記載した人の増加額は、平均1か月1万7553円

フリーコメント

(30代・女) 3月までは高速で1時間強→現在は普通道で2時間。

(50代以上・女) 南相馬市と東京を往復しています。南相馬市は電車が不通で国道6号線は通り抜けできないため、陸の孤島状態です。

(40代・女) 家族との面会には、福島～避難先(他県)の経路中、料金所も免除してほしいです。

(40代・女) 家族が東京へたまに来るのみで、私は絶対に息子をいわき市には連れて行けません。放射能がこわくて。

(年代性別記入なし) 南相馬市に住所がある人は2012年9月まで無料のようですが、それ以降はお互いの家を行き来することは大変になります。

(年代性別記入なし) 会う回数は変わらないが、お金と時間がかかる(ものすごく遠回り)。

(30代・女) 福島県内の一部区間を出入りする場合、避難者の無料措置が続いているので(8月いっぱい?) 今後、会う回数は減ると思う。

(20代以下・女) 無料措置は続けてほしい!!少しでも家族に会いたい。

(40代・女) 家族との面会には、福島～避難先(他県)の経路中、料金所も免除してほしいです。子供達が寂しがっています。

(30代・女) これ以上会う回数を減らすわけにはいかないなので、アルバイトを増やし収入を得られるようにした。

(40代・女) 二重生活でかなり厳しく経済的に負担が大きい(他あり)。

(30代・男) 交通費は変わらないが、もともと無料措置対象区間外を通るので負担は大きい(他あり)。

(40代・女) H24.9の高速無料が終了したら、交通費は月3万円位増えます。

(40代・女) 値上がり分、会う回数が減った。

#### 4. 健康問題について

(10) あなたのご家族の中で、甲状腺検査を受けた方はいますか？ 受けた場合は、どなたが、いつ頃、何回受けましたか？

また、その検査は無料でしたか？

受けた35% 受けていない56% 無回答9%

⇒「受けた」と回答した人のうち、受けた人として「子供」を挙げた人→68%

受けた平均回数 1.1回

⇒受けたと回答した人の87%が「1回」と回答

受けた時期 2011年 35% 2012年 55% 無回答 10%

有料か無料か

有料23% 無料77%



受けなかった理由（複数回答あり）

- (30代・女) 費用がかかりすぎる。無料で受けられることも知らなかった（他あり）。
- (50代以上・男) 何の通知もない（他あり）。
- (30代・男) どこでどうすれば受けられるかがわからない。情報が必要（他あり）。
- (50代以上・男) 検査する場所が遠すぎたため（他あり）。
- (50代以上・男) 県外にいた（他あり）。
- (50代以上・女) 考えてもいませんでした。
- (30代・女) 受ける機会がなかった。8月に受ける予定。
- (50代以上・女) 60才を過ぎているので。
- (年代性別記入なし) 原発事故による避難ではないので。
- (50代以上・女) 国が起こした事故なので、自費で検査はおかしいと思う！
- (30代・女) 子供はいないので。
- (50代以上・男) 精検（反応出ました）が実費と言われ、今、躊躇しています。
- (30代・女) 私の場合、震災時、福島県内に住んでいましたが、住民票は県外だったため、県民に来る医療関係の案内はまったく来ません。特殊な例だとは思いますが、3月12日に飯館村にいたり、その後何度も福島に行っているのですが、そういう人間も甲状腺検査・ホールボディカウンタともに無料で受けられればいいと思いました。
- ⇒32%の人が「通知がなかった」「受け方がわからない」と回答。

**(11) 甲状腺検査を受ける場合、何かご要望はありますか？（例えば、県外でも無料で受けられるようにすべき等）**

（複数回答あり）

- (30代・女) 県外で何歳まででも無料で定期的に。
- (30代・女) 正確な結果を教えてくれることを希望（他あり）。
- (50代以上・男) 連絡が全くない（ので連絡をしてほしい）（他あり）。
- (30代・女) とにかく子供は早くやってほしい（他あり）。
- (40代・女) 色々あったので、福島県内の医療機関に対する不信感があり大丈夫といわれるのがかえって心配（他あり）。
- (30代・女) チェルノブイリと同様、触診、血液、エコーの3点セットでやってほしい。甲状腺の異常は血液ですぐわかるのに、なぜやらないのか？
- (30代・男) 本人の必要に応じて受けたい。
- (40代・女) 仕事（パート）の都合上休めないなので、土曜 or 日曜日にやってほしい。
- (50代以上・女) 福島県からの情報では、わざわざ福島の医療機関に行かないと（無料で）受けられないと言われた。高速道路がお金がかかるし、そのため平日会社を休まなきゃならなく、なぜ東京の医療機関で受けられないのか！なんとか受けられるようにしてください!!
- (30代・女) 検査すべき項目を確定してほしい。
- (30代・女) 少しでも異常があれば2次検査に回してほしい。
- (40代・女) 今回の検査で、異常は見られるが心配されるものではないので次の検査は2年後とのこと。期間を短くしてほしい。
- (30代・女) 説明を分かりやすく、丁寧にしてほしい。
- (40代・女) 少なからず被曝しながらの受診は抵抗を感じます。
- (30代・女) 姉は被災者ではありませんが、一時立入などで多少放射能をあびていることを気にしています。
- ⇒要望を記載した人（全体の60%）の85%が、県外でも無料で検査を受けられることを希望。

(12) あなたのご家族の中で、ホールボディカウンタ検査を受けた方はいますか？ 受けた場合は、どなたが、いつ頃、何回受けましたか？

また、その検査は無料でしたか？

受けた 38% 受けていない 53% 無回答 9%

⇒「受けた」と回答した人のうち、受けた人として「子供」を挙げた人→70%

<コメント>受けた人として「夫」を挙げた人は、甲状腺では受けた人の3%に対し、ホールボディカウンタでは受けた人の24%にも上る。

受けた平均回数 1.2回

⇒受けた人のうち、「1回」と回答した人→85%

受けた時期 2011年 33% 2012年 55% 無回答 12%

有料か無料か

有料 6% 無料 88% 無回答 6%

受けなかった理由 (複数回答あり)

(50代以上・男) 連絡が来ていない。

(年代記入なし・女) 福島県へわざわざ行けないので (他あり)。

(50代以上・女) どこで検査をするのかわからない。

(40代・女) 検査のために福島に戻るのが費用と時間の両面で厳しい (他あり)。

(50代以上・男) 県外にいた (他あり)。

(50代以上・男) 家族3人とも被曝線量は低いと思う。

(50代以上・男) やっと通知が来ましたが、茨城県で行うとのことで、他に受けられる所はないのでしょうか？

(年代性別記入なし) 遅い。

(30代・女) 機会がないため。

(30代・女) 都内で検査したい。

(40代・女) 検査の信憑性に疑いを持っているため。

⇒受けなかった理由を回答した人のうち36%が「通知がなかった」「受け方がわからない」と回答。

(13) ホールボディカウンタ検査を受ける場合、何かご要望はありますか？ (例えば、県外でも無料で受けられるようにすべき等)

(複数回答あり)

(30代・女) 県外で、何歳まででも無料で受けられるようにしてほしい。

(30代・女) とにかく子供は早くやってほしい (他あり)

(30代・女) WBCよりも福島県民健康調査の結果を知りたい。調査結果で値の高い人だけWBCを受検すればよいと思うが、1年以上経過した今、受けることに意味を感じない (他あり)。

(30代・女) 県外での検査が無理なら、戻るための交通費を出してほしい (他あり)。

(40代・女) 検査が平日なので学校を休むことになるが、欠席扱いにならないようにしてほしい。

(30代・女) セシウムがわかるのみではなく、尿検もやって、体内にあるすべての被種を調べてほしい。

(30代・男) どこでどうすれば受けられるかがわからない。情報が必要。

(30代・男) 本人の意思で受けたい。

(50代以上・男) 妻と私は数回一時帰宅しているので、線量は知りたい。また、東京の食品からの被曝についても関心がある。

(30代・女) WBCの下限値が高すぎる。

(30代・女) スペクトルグラフまで印刷して渡してほしい。今は有料になってしまったようなのでまた無料にしてほしい。

(40代・女) 都内で1年半暮らし、一度も福島に戻っていないので検出されれば東京の子もマズイ！ということだと思う。

- (40代・女) 子供のことはもちろん心配ですが、福島市で仕事をしている主人、父母がものすごく心配です。仕事多忙のため、検査も1度もしていません。職場で測れるようなシステムを作ってほしいです。また、「被爆健康手帳」を必ず作ってほしい。福島県民全員に。
- (30代・女) 東海村へ出向き検査を受けてきました。安心はいただきましたが、今いるところからは遠く、時間も早かったので、小さな子供を連れて行くのは大変でした。交通費は自腹です。
- (40代・女) 30kmと区切らずに子供には受けさせるべき。これから病気になる子が増えてきても、被爆のせいではない！と国は言い張りそう。
- ⇒要望を書いた人(全体の58%)のうち78%が、県外でも無料で検査を受けられることを希望。

**(14) 避難生活をされていて、健康状態(精神的な状態も含む)で、不安な点はありますか? ある場合は、どのような点ですか? 差支えない範囲で教えて下さい。**

不安の有無      ある 72%      ない 14%      無回答 15%

不安な点 (複数回答あり)

- (30代・女) ストレス(ストレスによる体調不良他)。→同旨9%
- (50代以上・男) 体を動かさない。仕事がない。この先の生活がどうなるかわからない漠然とした不安。→同旨9%
- (30代・女) 1人で初めての子育てをしているため子供の知能や精神面の発達が心配。1人きりでの子育てに強い疲れを感じる日があるが、助けてくれる人がいない(今後の子育て、夫がいない状態での子育てについて他あり)。
- (30代・男) 眠れない(他あり)。頭痛(他あり)。
- (30代・女) アルコール依存(他あり)。フラッシュバック。過呼吸。突発的なパニック。孤独感。絶望感。
- (40代・女) 子供達に父親と会えないストレスがかなりあるので心配(他あり)。私も体調が悪くなることもあるので、その場合の病院や子供達が心配(他あり)。
- (20代以下・男) 精神的に不安定(精神的につらい)(他あり)。
- (40代・女) 子供達それぞれが精神的に不安定になっている(他あり)。
- (40代・女) 子供がイライラしてけんかが増えた(子供に当たることも多い)(他あり)。
- (50代以上・女) 自分の行きたい場所に行かれない。乗り物の乗り方がわからない(他あり)。
- (50代以上・男) 親戚も知人がいない(地縁血縁のない地のため引きこもりがち)(他あり)。
- (年代記入なし・女) 火を使うのがこわい(暗い所がこわい他あり)。
- (50代以上・女) うつ状態になっています。体の状態も悪く、病院通いが多いです。
- (40代・女) 風邪を引きやすくなった。二重生活でお金がかかり、これからどう生活していこうか不安。
- (50代以上・男) 体の節々が痒く(or痛く)なってくる。
- (50代以上・男) 血圧、糖が高くなった。目が悪くなった。歩行困難→医者は原発との関係はないと言う。もし不明とするなら、医者としてウソを言うことになる。証明できない(東電は賠償しない)。
- (50代以上・男) 健康に不安があるので、医療支援をもっと続けてほしい。
- (30代・女) 現在妊娠中のため、体調のよくない日が多いこと。
- (50代以上・女) 原発事故以前の生活にはもう2度と戻りません。後退しながらも半歩でも少しでも前に歩いて過ごすよう心がけていと思う。
- (20代以下・女) 子供が小さいため、早く検査してほしい。
- (30代・女) 子供とのコミュニケーション。
- (30代・男) 里帰り出産できないので不安です。
- (50代以上・女) 字や言葉では言えない。
- (30代・女) 食生活がどうしても偏りがちになってしまい、低血糖症になった。食事制限をしているが、全ての食材を(田舎と違って)買わなくてはいけないのと、1人分が難しく、つらい。
- (40代・女) 精神的にも経済的にも余裕がなく、疲れた生活を送っています。どうしてこんなことに…と矛盾や怒りがこみ上げてきます。

- (50代以上・女) せっかく決まった新しい職場での気の遣い過ぎと、被災者がもっている現実の仮の家から通う切なさ。そして職場の方は当たり前のように自宅から通う。何の変わらない人達との考え方のギャップが、とてもつらいです。
- (50代以上・女) 狭い部屋で義母といつも一緒なので、精神的に疲れる。今はデイサービスにも行っているのですが、その時はほっとしている自分がある。
- (50代以上・女) 食べ過ぎによる肥満気味。
- (30代・女) 東電の対応の悪さに、頭痛やイライラがある。
- (年代記入なし・女) 特にメンタル的にサポートをしてもらえるといいです。
- (30代・女) 内部被爆の影響が出ないか不安。残っている家族の被爆が気になる。
- (30代・女) 不安でドキドキすることがある。
- (30代・女) 鼻血、しっしん、鼻炎など。福島に帰ると子供にこのような症状が出るので、福島になかなか帰れない(子供の体調不良他1)。
- (30代・女) 母の異常なまでの心配性(娘たちの夜の外出を嫌がる)。
- (50代以上・男) 病気そのものではないが、無料で病院にかかることができる期間がいつまで補償されるのか?
- (40代・女) 福島県人同士の分断。ねたみ。30km問題。補償金の問題。
- (40代・女) 福島で1人生活している夫は、ほとんど外食で食事を済ませている。仕事をして、ずっと家族で生活するはずだった新築の広い部屋に1人生活している夫の健康、精神状態がいつまでもつか心配です。避難生活をしている私、子供たちにとっても、家族が離れ離れで生活する状態は精神的肉体的にも辛いです。
- (50代以上・男) 部屋に入りきりで足が弱くなった。
- (30代・女) 福島に残した夫との関係が悪化し離婚した場合、経済的に大変になるだろう……と考えると不安になる。
- (40代・女) 不整脈が自分、子供共に悪くなった。次男は先日1週間入院したが原因不明のまま。
- (30代・女) 放射能の影響も考慮しての医療が受けられない。ストレスのせいと言われており、チェルノブイリのデータもあるのだからそれも考慮して医療を受けたい。きちんと診てくれる医師リストの公開もしてほしい。
- (40代・女) 息子はもともと身長が低いですが、現在もあまり伸びていない。もしかしてこれも放射線のせいかと疑ってしまう。  
⇒<コメント>ほとんどがストレス、今後の生活への不安。

## 5. 生活全般について

- (15) 避難生活をされていて、避難生活前より生活費や医療費が増加していますか? 増加している場合、増加額は月額どのぐらいですか? また、生活費や医療費の増加の主な理由を教えてください。

### <生活費>

増加の有無      増加した68%      増加していない22%      無回答10%

### 増加額

「増加した額」を記入した人の平均増加額1か月 6万3125円

### 増加の理由(複数回答あり。比率は「増加した」と答えた人に対する比率)

- (20代以下・女) 二重生活による生活費の増加。→同旨38%
- (50代以上・女) 交通費・家族に会うための移動交通費。→同旨27%
- (30代・女) 光熱費→同旨15%。食費(他あり)。保養費。
- (50代以上・男) お米、味噌、野菜は自給自足していた・もっていた。→同旨13%
- (40代・女) 物価の高さ。→同旨12%
- (30代・女) 野菜・牛乳などは産地を決めて購入(高くても仕方ない)。→同旨10%
- (30代・男) 外食(二重生活している夫の外食費他あり)。アルコール量が増えた(他あり)。夏、エアコンを使わないといけない。生活に必要な物を一つ一つ揃えなければならない(他あり)。
- (40代・女) 山形で仕事を始めたため、保育料がかかるようになった(他あり)。
- (20代以下・女) 日常的に使う料理用の水や飲料水をミネラルウォーターにした(他あり)。

- (20代以下・男) 家賃が避難元より増額している (住居費他あり)。  
 (50代以上・女) 通信費 (他あり)。  
 (40代・女) ガソリン代 (他あり)。  
 (30代・女) 駐車場代、教育費 (他あり)、雪国なので雪かき・車のタイヤ。  
 (30代・女) 子供の習いごと (他あり)。  
 (50代以上・男) 収入がないので、切りつめるだけ切りつめている (他あり)。  
 (40代・女) 医療費。  
 (30代・女) 地元を置いてきているため、維持費 (車検代、保険料20万円)。地元の車はバッテリーが上がり、交換もした。  
 (50代以上・男) 生活費はあまり変わらないが、9月からは医療費がかかるとのこと。  
 (40代・女) 仕事を辞めてきたので、今は不安定な収入で、生活レベルはかなり下がっている。  
 (30代・男) 福島の家の警備。  
 (50代以上・男) 車の税金が4000円から7500円になった。  
 <コメント>二重生活による生活費全般の増加、交通費、光熱費の増加が突出している。

#### <医療費>

増加の有無      増加した26%      増加していない56%      無回答18%

#### 増加額

「増加した額」を記入した人の平均増加額は1か月 1万7909円

#### 増加の理由 (複数回答あり)

- (50代以上・女) 2012年の4月から、接骨院はお金がかかるようになった。  
 (50代以上・男) 医療費が高い。  
 (40代・女) 医療費が無料ではないので (会社での)。  
 (30代・女) 夫が精神的不安から病院にかかる。  
 (30代・女) 夫も別居するようになってから体調不良が続いたため。  
 (30代・女) 風邪をひきやすくなった (他あり)。重症化しやすい。鼻炎が治らない。  
 (40代・女) 睡眠障害。アレルギーの悪化。原因不明の不整脈による入院等。  
 (30代・女) 精神的苦痛から頭痛がひどくなった。  
 (40代・女) ぜんそくになった。  
 (30代・女) 体調を崩すことが増えたため。  
 (40代・女) 体力が落ちているのか、医者に行く回数が増えている。子供は後で申請すれば戻ってくるが、何かと出費があるため。  
 (50代以上・男) 避難所を転々としている間に母が認知症になりその施設費用。  
 (40代・女) 福島市受診の時は無料でしたが、米沢市受診の時は住民票が福島市にあるため、立替えの状況が長く続く。  
 (50代以上・女) 福島とは夏場の温度が5度も違い、家族が何度も熱中症になり、夏風邪もひいて、病院にかかることが増えた。慣れない電車の疲れもある。  
 (30代・男) 福島に住所を置いているため県外出産なので、全て自費です。後で戻ってくるシステムです。  
 (40代・女) 毎月もらう安定剤やホルモン注射代。

#### 増加していない理由

- (30代・男) 今現在は健保の一部負担金免除のため増加していない。→同旨11%

(16) 将来の医療費に不安がありますか？不安がある場合その理由を教えてください。

不安の有無      ある 61%      ない 14%      無回答 25%

不安の理由 (複数回答あり。比率は「不安がある」と答えた人に対する比率)

(30代・女) ガンなどにかかった場合 (放射線の影響が出ないか心配他)。→同旨 26%

(20代以下・女) 医療費免除はいつまで続くのでしょうか。→同旨 17%

(30代・女) 子供が病気になったとき。→同旨 11%

(50代以上・男) 収入がないので不安 (収入減・収入不安定のため他)。→同旨 8%

(30代・女) 今後の健康問題が起きた場合に、国が保障してくれるのか不安 (他あり)。

(40代・女) 18才までは医療費無料だが、その後もし病気を発症したときはどうなるのか (他あり)。

(30代・女) 130km 圏内のみなど、線引きをされそうな不安もある。

(30代・女) TPP などの問題。まともに医療機関に通えなくなるのでは。

(40代・女) 今は健康だが、原発事故直後、何も知らされず外出し、放射性物質が体内に入ってしまったのは事実なので、将来どんな形で発症するのか心配。今の国の対応等を見ていると、区域外は将来病気になっても保障しないだろうと思う。不安というより諦めの域です。

(30代・男) (福島から) 住所を移した場合、どうなっていくのか不安です

(50代以上・男) 体がだんだん老化してくるから。

(30代・女) 収入が少ないのに病気になるのが不安。

(40代・女) 原発労働者が亡くなっても因果関係が否定されている現状を鑑み、区域外の私たちが心臓病やがんで死んでも保障は全く期待できないから。

(40代・女) 私の弱い体で子育てしていけるのか不安いっぱいです。

(40代・女) 被ばく検査をやらないというこの対処の遅さは福島県人を見殺しにしていると思えない。大丈夫だという政治家全員、福島に住んでほしい。

(40代・女) 放射性物質による影響はすぐには見つけることができない。長期にわたって子供たちの健康を守るためには、定期的な健康診断が必要だと思うので、その分、費用がかさむ。

(40代・女) 「被爆健康手帳」配布を強く望みます。

(50代以上・女) 避難後、医者にかかる回数が増え、医療費がどれだけ増えるか不安です。

(30代・女) 免疫力が下がっているし、甲状腺など定期的に受診したいので、医療費が占める割合が高くなる。家計を圧迫する。

⇒<コメント>放射能の身体への影響、医療費無料措置終了後のこと、子供の健康に関する声が多い。

(17) 避難の前後で世帯収入の増減はありましたか？ また有る場合、具体的にどの程度か差し支えない範囲で教えてください。

増減の有無      増加 3%      減少 52%      増減ない 33%      無回答 11%

減少割合の平均      割合で減少額を記載した人の減少率→平均 42%減

金額で減少額を記載した人の減少額→平均 1 か月 11 万 1666 円減少

自由記述

(30代・女) 私の会社がなくなり、仕事 (収入) がなくなった (他あり)。

(50代以上・男) 働けない。

(40代・女) 夫が退職し、家族との同居を選んだため。

(30代・女) 家にずっといるより、外に出てバイトしていた方が精神的によかったのでバイトをして収入は増えた。

(18) 避難先の自治体でのサービスに不満な点があれば教えてください。

子どもの教育について (複数回答あり)

- (30代・女) 二重生活で生活費も厳しいので、教育についても何らかの援助がほしい (他あり)。
- (40代・女) 以前は小学6年まで預けることができる児童クラブに子供達を預けていたため、安心して仕事をしていたのですが、こちらは小3までなので帰宅時間が心配で、仕事をしたくても思い切れないです (子供を預けられない他あり)。
- (40代・女) 部活にお金がかかりすぎる。学校の経費なども福島より高い (他あり)。
- (40代・女) 別の自治体では小中学校の学校費が無料のところがある (他あり)。南相馬市は給食費だけで後は無料とのこと。米沢は世帯収入によって決められている。
- (50代以上・男) 子供のいじめ。福島の人には隣に接近しないで。放射線がうつる。学校で仲間の指導者にならないといじめにあいます (他1)
- (40代・女) 給食費以外全部、学校からの集金がある。自治会費も月1200円払ってます。
- (40代・女) 教育委員会の方の話し方がきつくて、毎回ここに居ていいのかと不安になる。帰れないのに福島に帰ることを前提に話されるので切ない。
- (20代以下・女) 現在、住民票を福島から移さず避難している。来春、長女が幼稚園入園予定で、区役所に聞いたところ、今年の入園時は被災者にも区民と同じような補助金が出たが、来年はどうなるか分からないとのこと。幼稚園事情も全く分からなかったため、自分で調べたがもう少し分かりやすくHPなどに載せてくれたら助かる。
- (30代・女) 郡山市と比べて子供に対する行政サービスが少ないように思う。
- (30代・女) 生活費が二重にかかっているために、福島にいたころのように習い事がさせてあげられない (他1)。塾にも行かせてあげられない。高校受験の進路の話も先がどうなるか分からないので進まない。

保育について (複数回答あり)

- (年代性別記入なし) 区の保育園に受け入れてもらえない (他あり)。助成金がまったく出ない。
- (40代・女) 親が福島に行くときに、子供を東京に残して行って来られるようになると助かるのだが。
- (40代・女) 学校の集金がかかります。
- (30代・女) 保育料が高い。今までと同じ待遇を受けたい (月5900円→月30000円)。
- (30代・女) 幼稚園は避難を理由に割引があるが、認可保育所にはそれが無い。不公平。

医療・介護等について (複数回答あり)

- (40代・女) 子供の医療費は一旦自費で払い、いわき市に請求する形で、とても面倒で大変です (他あり)。住民票を福島から移動したらどうなるのか…とか、わかりません。
- (40代・女) 医療費の実費無料化の延長をお願いしたい (他あり)。
- (30代・女) 今までより風邪を引きやすくなった。重症化しやすい。これからも定期的に検査 (自費) していきたい。
- (20代以下・女) 区民と同じように予防接種・検診等、通知や書類を送ってほしい。
- (40代・女) 住民票の壁に毎回悩んでいます。
- (40代・女) 小児科の診療時間が福島より短い。
- (30代・女) 避難先でも、子供の医療手続なしに免除してほしい。

その他

- (50代以上・女) 住宅、中古住宅を紹介してほしい。
- (50代以上・女) とにかく今は義援金生活です。仕事はなかなか見つからず、やはり年齢で落とされているようです。
- (30代・女) 二重生活で生活が厳しいので、何らかの援助がほしい。

**(19) 避難先での就労支援は必要としていますか？ 必要な場合はどのような支援が必要と思うかできるだけ具体的に教えて下さい。**

就労支援の要不要      必要 38%      不要 26%      無回答 36%

⇒40代以下に限った場合      必要 53%      不要 17%      無回答 30%

⇒30代以下に限った場合      必要 50%      不要 23%      無回答 27%

必要な就労支援（複数回答あり）

- (30代・女) 今までは近くに子供を見てくれる親などがいたが、今は子供が風邪などを引いたときなど、一時的に見てくれる人がいないので仕事ができない。母子なので、子供をいつでも気軽に安心して預けられる所がほしい（他あり）。
- (30代・女) 父親が移住できるよう、父親に対する就労相談会を開いてほしい（他あり）。
- (30代・男) 必要だとは思いますが、将来的に福島に戻るかもしれないと思うと、いつ戻るかもわからないし、雇用する側もされる側も問題なので、短期（3～6か月くらい）で継続を前提とした形があればいいと思う（他あり）。
- (40代・女) 年齢がネックになり、なかなか正社員の職がない（他あり）。
- (50代以上・男) 60を過ぎた自営業者が求職をしても難しいが、そういう募集は知りたい。給料は低額で構わない。仕事をしていたい。
- (30代・女) お父さんたちの就労支援をしてもらえたら、一緒に暮らせる家族が増えると思う。
- (20代以下・男) 希望する種の職が少ないため、より多くの職業（希望するもの）について紹介してほしい。
- (50代以上・男) 緊急雇用の期間延長を!!または別の形で続行はできないものでしょうか？
- (40代・女) 子供が大きくなったら仕事をしないとやっていけないと思うので、支援があつたら見つけやすいのでは？住民票を移していないと普通にハローワークなどで見つけられるのか不安です。
- (40代・女) 子供が父親と暮らすためには期限付のパート就労では福島から離れられません。35歳以上の正規社員の就労支援が必要です。
- (40代・女) 子供のいる女性でも働ける所を教えてください。
- (30代・女) 収入減が激しいので、他の失業者より優先すべき。
- (40代・女) 短期・長期、それぞれ個人の事情が違うのでどちらでも働けるようにしてほしい。
- (30代・女) 小さい子供がいると外に働きに行くこともままならない。団地単位で内職のような軽作業を斡旋してもらえると交流もできてよいのでは？
- (40代・男) 手に付けた技能を活かした職を探したい。
- (年代記入なし・女) 特に原発による就労支援については徹底的に実行してほしい（損害賠償）。
- (50代以上・男) ハローワークはもっと積極的に支援すること。パソコンで見て働きたい所があつたら申し出てください。これだけ。いろいろ聞いて具体的に会社との間に入って交渉するとか。職員は税金で生活している。もう少し仕事をしろ。
- (30代・女) 必要ですが、子供の体調が安定しないと働くこともできない。
- (30代・女) 30歳を過ぎて新しい職種に転職しなければならない精神的苦痛がある。

**(20) 二重生活の場合、現在の勤務先から避難先に近い場所への転職は考えていますか？ 考えている場合はどのような支援が必要と思うかできるだけ具体的に教えて下さい。**

転職の検討      考えている 16%      考えていない 38%      無回答 47%

必要とする支援（複数回答あり）

- (30代・女) 同じ職種で収入が減らないのであれば考えます（他あり）。
- (40代・女) 今までの仕事と同じ職種に就けるといい。年齢制限なくつとめてほしい。
- (30代・女) 仕事の優先的な斡旋。
- (40代・女) 終身雇用（福島の終身雇用を退職するには以前と同等の雇用条件が無ければ怖くて辞められないので）若しくは保障付の雇用
- (40代・女) ずっと福島で働いていたので、新しく勤務できるか心配です。転職のため、勉強もしています。支援をお願いします。
- (30代・女) 父親の就職支援。
- (年代記入なし・女) 避難者向けの特別ハローワークをつくってほしい。



## 6. 帰還について

### (21) 避難元へ帰る事を考えていますか？ 考えていない場合その理由を教えてください。

考えている 38%      考えていない 55%      無回答 8%

考えていない理由（複数回答あり。比率は「考えていない」と答えた人に対する比率）

(40代・女) 現在は子供達の健康と将来のことを考えると戻りたくとも戻れない状況です。→同旨 13%

(30代・男) 簡単に放射能は消えてくれないので（除染が進んでいない他あり）。目に見えないものがある場所でこれから生まれる子供を育てようとは思えません。

(年代性別記入なし) 「ただちに影響がない」だから。「ただちに」が取れるまでは帰れません。子供も小さいので。

(50代以上・男) 5mSv/年等の基準が事故前よりも緩くなっていることが理解に苦しむ。

(30代・女) 安全という保証がないので（他あり）。

(年代性別記入なし) このまま東京都で生活していきたい（地元根付いた）（他あり）。

(50代以上・女) 住むところがないので戻るとは考えていません（他あり）。

(30代・女) 今は（帰還を）考えていないが、数年後はわからない。

(40代・女) 大熊町は無理だと思っています。

(30代・女) 夫が反対のため。

(50代以上・男) 居住可能と私自身が判断できない。戻っても職業に就けそうにない。

(20代以下・女) 国、東電が責任をもつ!!と安全と言ってくれれば。

(40代・女) 健康被害が出てでも保障されないことが分かってきたため。避難しなかった人たちとコミュニティーの再構築が困難だと分かったため。

(50代以上・男) 現在の東電・政府の対応では、避難者の考えに基づいて物事をおし進めているとはどうも考えられないからです。

(20代以下・女) 現状で戻って生活することは考えられない。

(30代・女) 原発事故が収束していないから。

(30代・女) 高濃度に汚染され、現在も放射線のちりが大量に舞っているため、育児は無理と判断せざるを得ない。

(40代・男) 子供達にとって帰っても大丈夫と思えるとき。

(30代・女) 子供の体調不良のため。

(50代以上・女) 事故前に戻してほしい。

(50代以上・女) 除染をしても、林とか畑はきれいなと思うし、隣町はまだ警戒区域だし、町としては機能しないと思うから。

(30代・女) 低線量被曝の不安はもちろんだが、今後も廃炉になるまでまた大量に放射性物質が放出される可能性があるため、妊娠・出産・育児の場ではないため。

(40代・女) できるだけ今の環境の福島には戻りたくないです。学校生活が1番心配です。震災前と変わらない生活をしているのですが、子供たちの体には異常が出ています。なぜ、そうしているのか理解に苦しみます。ですが、主人の仕事などで帰るかもしれません。できるだけ被曝をなくす環境に移り住みたいです。

(50代以上・女) 比較的に高齢者は徐々に戻っているように思うが、若い人、幼児、子供は戻っていません。放射能が心配なんです。

(30代・女) 福島に戻るたびに自分の線量計で測っている。帰りたいが、放射線量が下がっていない。帰れない。

(50代以上・男) 放射能の不安。

(30代・女) 本当に安全な所はどこか。また、西日本の方へ引っ越しをしたい。ただ、年老いた両親は福島から遠方には行けない。  
ジレンマ

(30代・女) まだ何も変わっていないので。

(40代・女) 迷っている。

(年代記入なし・女) 老人のため、家を築く資金がありません。

(50代以上・男) 炉内の現状がよくわからないうえ、大熊に廃棄物中間貯蔵施設が建設されるのは確実だろう。それは永久処理場にするしかないと思うので、帰ることは今、考えられない。双葉郡以外の貯蔵施設などあり得ない以上、反対するより補償費を積み上げる交渉をするべきだ（自治体も住民も）

(22) どの段階で(なら)帰還しますか? その理由を教えてください。

(複数回答あり。比率は全体に対する比率)

(50代以上・女) 放射線量が事故以前と同じになったとき。→同旨8%

(50代以上・女) 除染し、線量が下がれば帰るかもしれない。→同旨8% まだ築10年の家のローンが残っていて、今も払い続けているし、自分の家に住みたい。

(30代・女) 子供が成人になるまで戻りたくないのが本音(他あり)。そのとき戻るのは私だけで、子供たちにはいわきで生活してほしい。子供の未来やその子の子の未来を不幸せにたくないから。

(50代以上・男) 全てが原発爆発前と同じように戻ったとき(他あり)。

(50代以上・女) 水道、電気、ガスが使用でき、お店(マーケット)が開いていれば帰る(他あり)。生活して不便がなければ帰ります。

(50代以上・女) 第1も第2も原発が完全に安全とわかるか、廃炉になるまで(他あり)。

(30代・女) 福島を山をすべて除染したら帰る(他あり)。

(50代以上・男) ①除染の状況 ②地域での生活可能性-インフラの整備など。

(30代・男) 海の安全性が確認され、以前のように全国から人が来るようなビーチでのイベントが開催されるようになったら。海の安全性とビーチイベントが仕事と直結するため。

(50代以上・女) 帰っても体に心配がないとの確約がもらえれば考えると思う。一番最初の政府、東電の地元民に対する対応の不審がずっと続いている。

(40代・女) 帰りたくないが、今まで楽しんでいた山菜狩り、潮干狩り、きのこ狩りが安心してできるようになったら帰ります。

(50代以上・女) 考えていません。私の精神的な問題です。

(40代・女) 帰還したいですが、30年後くらいにならないと帰れないのではと考えています。川の汚染が深刻です。山も除染など到底難しいことだと思います。原発をなくさない限り…。

(40代・女) きちんとした東電の対応や子供の健康管理が約束されれば。

(30代・女) 金銭面でも生活が厳しく、早く帰還したいと思うが、健康面を考えるとそうはいかない。日々悩んでいる。子供にとってどちらが幸せなのだろうか?

(30代・女) 0.1 $\mu$ Syまで下がってほしい。店頭に並ぶ食品も、外部、内部被爆合算して年間1mSyに抑えられる食べ物を並べてほしい。こわくて買えない。

(50代以上・男) 空間線量年1ミリシーベルト以下。水道水のセシウム不検出。食料品が調達できて飲食店で普通に食事ができる段階で考える(ただし中間貯蔵施設ができなければの話)。そういう段階は50~100年後ではないかと想像するので、自分の代ではあきらめている。

(30代・女) 土壌汚染が震災前の値(20ベクレル/kg以下)に戻ったとき。子供の体調不良が帰還後も出なければ。

(40代・女) 国と東電が安全・安心であると宣言し、将来の原発事故による疾患を認め、全保証をしたとき。水俣病のようにはなりたくありません。

(年代性別記入なし) 高齢の母と暮らしているので、母を送ったら帰還の予定。

(20代以下・男) 自分が65才になり、自分達だけなら帰還。線量が事故前と同一になったら。

(30代・女) 地元で婚約者が仕事ができるようになったら。地域の安全性が確認されたら。

(30代・女) 食の安全が徹底されるほどの状態。

(30代・女) 除染で線量が低くなれば。生活圏全ての場所希望なので不可能に近いと思う。

(年代不明・女) 住めるようになったら。今のところ住めないから。

(50代以上・女) 全町村が帰れるとき。

(40代・女) チェルノブイリ事故では、5~6年の間に甲状腺がんやいろいろな症状が出ているというデータを見ると、帰還は5~6年より先にしたい。

(30代・女) どの段階というよりも、子供の教育環境と父母の健康状態も考えて、子供の小学校入学時と考えている。

(30代・女) 避難指示が解除されたら、できるだけ早く。家が住める状態ではないので、早く直せたら。

(20代以下・女) 放射性物質が飛ばなくなったら。原発事故が本当に収束したら。原発の現状を隠さず教えてほしい。

(30代・女) 放射線(セシウム)の被害を認め、国際基準であらゆる数値に対しての対応が人命を優先していると感じることができれば帰ります。

(30代・女) 放射線量が大幅に下がってから。

(50代以上・男) まず東電・政府が帰還できる環境整備及びインフラ、電気、ガスその他もろもろの宅地、農地の除染が完全であるか自分なりに確認できるまでは帰宅は不可能です。土地、家屋、不動産、家電、家具など家財の賠償金などまだ多数ありますが、この段階では申し上げられません。

(50代以上・女) 町としてちゃんと機能してから。現状、帰れる場所なのに住民は戻っていない不安があるから。スーパー・病院・バス・タクシー、いくら役場が戻ったところで、町に人がいないのでは不安で帰れない。

#### 「帰還しない」というコメント →12%

(50代以上・男) 帰還しません (他あり)。

(50代以上・男) 帰りたいけど90才になっては帰れません。

(40代・女) 大熊町は無理です。

(年代記入なし・男) 警戒区域内でまだ入ることができません。国の方で9月に発表するようです。

(50代以上・男) たぶん帰還しない。特に行く場合、限定的な要件のみ。

(年代性別記入なし) まだわからないが、帰らない。「ただちに影響がない」じゃなく「確実に影響がない」になったら!

(50代以上・女) 事故が起こる前に戻してくれたら考えます。今はありえない!

#### 「わからない」というコメント→2%

(30代・女) 分かりません。

(30代・男) 支援していただけるうちは避難したいが、不明。全ての二重生活費を賄うことはできないため。

## 7. 除染について

### (23) 避難元または避難先の自治体が行う除染計画に対する要望があれば教えてください。

(複数回答あり)

(50代以上・男) 1日も早く除染を実行に移してもらいたい (他あり)。

(50代以上・女) 完全に住民に害のない状態にしてほしい (他あり)。

(50代以上・女) 家の周りの山も除染してほしいです (他あり)。

(50代以上・女) 山・河川の除染 (他1)。家屋の定期的な除染 (他あり)。

(50代以上・女) いわき市は安全といわれ、除染作業自体が行われていない。地域によっては高線量のところもあるのに、きっちり計測して、高い地域は除染してほしい。

(30代・女) 空間線量のみを基準にしないで土壌もしっかり計測してほしい。除染基準をもっと低く。市民に除染させないで自治体で除染してほしい。

(年代記入なし・女) 原発事故以前の状態にまで戻してほしい。

(40代・女) 自宅内も責任もって除染をし、原発事故避難により捨てなければいけなくなった家財道具費 (ふとんなど) を補償してください。新築で全て新しくしたばかりだったのに悔しいです。

(40代・女) 自治体による除染よりもまず、国が除染により出た汚染物の保管場所を決定しないと何も始まらないと思う。

(30代・女) 実行可能な計画を立ててください。除去物・汚染がれきの放置がないようにしてください。

(40代・女) 除染計画の現状を教えてください。

(50代以上・女) 水源の除染を完全にしてもらいたい。

(30代・女) 線量の高すぎる場所はもうしないで、広域できちんと避難させ、安全の確保。除染するなら無駄なくきちんと。

(40代・女) 土が舞い上がらないようにやってほしい。除染中は子供を外に出さない、窓を閉める等、指示を徹底してほしい。

(30代・女) 土壌の除染を早くしてほしい。

(30代・女) とにかく子供中心に考えて除染してほしい。

(40代・女) 予定されている時期よりだいぶ遅れているよう…できるだけ早く、そして結果が出るように考えてほしい。やればいいではなくて、いろいろな手段を試してほしい。

「除染は無理」という趣旨のコメントを書いた人→20%

- (50代以上・女) 除染にお金をかけるならば、そのぶん支援と町全体を疎開した方が、お金はかからないと思います (他あり)。  
(40代・女) 除染は家やその周囲だけしても全く意味がないことが証明されてしまったので、しても無駄だと思う (他あり)。  
(30代・女) あんなに広い土地を自分たちで除染なんて無理 (他あり)。山には木があるのが当たり前。枯れ葉が落ちるのが当たり前。  
(50代以上・女) 効果のある除染なのかが心配。  
(30代・男) 除染してもほとんど意味がないと思うので、福島の人を早く逃がしてほしいです。  
(年代記入なし・男) 町全体 (警戒区域) が除染しても完全なる除染は難しいので、すぐ帰還することはない。  
(年代性別記入なし) 難しいと思う。

その他

- (40代・女) 福島県に残る子供達を国または地方自治体で集団非難させてほしいです。  
(40代・女) 原発ゼロにしてください。保証金を区域外の人にも支給してください。  
(30代・女) 除染で出た土や瓦礫などは非汚染地域に持っていくべきではないと思う。  
(30代・女) 除染といっても、他に移したり、埋めたり、環境中からはなくならないため、除染に使う費用を県民の避難に当ててほしい。

## 8. 政府に対する要望（自由記載）

平成24年8月に実施したアンケート調査にて、避難者の皆様が政府に対して特に生活支援に関する言いたいことを自由に記載していただいたところ、69件の生の声をいただきました（平成24年9月4日時点）。

- 自主避難者にも、もっと金銭的支援をしてほしい。いわき市よりも福島市のほうが線量は高い。二重生活で金銭的負担は大きい。将来の計画も立たない。  
どこの家も夫は福島に残っていて、福島に住めると思っている夫が多い。逆に妻は戻れないと思っている方が多いため、家庭の中で将来の話をしてケンカになってしまうとよく耳にする。離婚を考える方も増えてきた。  
夫の一番の不安は仕事。「移住」を選択するには、夫に仕事をやめてもらい、新しい仕事についてもらわなければならない。夫が仕事を辞め新しい仕事が見つかるまでの間、休業手当を長く出してほしい。政府の方が思っている以上に、長引く避難生活は精神的につらく、負担は大きい。  
(避難元：福島市／30代／女性)
- 家の保証を早くしてください！どの位支払って頂けるかわからないままでは、新しい土地に移り住む計画も立てられません。両親の精神状態を考えても、迅速な行動をお願いしたいです。  
(避難元：浪江町／30代／女性)
- 政府はなぜウソばかり言うのか。本当の事を国民に示せ。東京電力は原発は国策だ。責任は国にある。政府に金を出して東京電力は自由に営業できるようにいろいろな決まり事を作ってしまった。賠償問題に指針を作った。なんで政府が指針を作成するのか。東京電力が指針を作って賠償すべきだ。東京電力は賠償について自らの方針・基準があるのか。この基準を避難者に示せ。賠償の意味を理解していない。質問するとまともな答えが返ってこない。賠償に公的資金を使う。なんで国民の税金を使うのか。原発爆発したとき容器は壊れていない。  
賠償請求すると必ず領収書を出せ、領収書を出したら契約書を出せ、これらの足代、電話代は全く出さない。子供と孫がバラバラに生活しているが、ここへ行くのにガソリン代は出せない。高速代も出ない（対象外とのこと）。請求する前は出すと言ったが、請求後は出せないと返事。  
(避難元：浪江町／50代以上／男性)
- 政府と自治体それぞれで連携が取れていないように思う。生活支援といっても中途半端で、恩恵を受ける人と受けない人の差が激しい。高速道路も、避難している人は東日本だけではないので、全域に広げてほしい。  
県外（または山形、新潟、宮城など避難者が多い地域以外）は、とにかく情報が入ってこないし、きたとしても遅い。説明会の案内や何かの締切など、期日を過ぎてから来る。政府もそうだが東電側の支援も皆無。  
(避難元：南相馬市／30代／男性)
- 除染より、一刻も早く子供達を安全な場所へ避難させてほしいということを心から願っています。健康被害が出てからでは手遅れです。子供を守りたくて自主避難した人達は、地元に残る人達との間に深い溝ができてしまったことにも苦しんでいます。避難してきた子供達も、環境の変化にとまどっています。真実を教えてください。国が福島県民に謝罪してください。  
(避難元：福島市／30代／女性)
- 先日法律化された被災者支援法を早期に具体的に決めてほしい。支援法の適応となる地域を制定してほしい。居住費用の全額負担、就労斡旋、医療費免除（子供だけでなく大人も）  
(避難元：福島市／30代／女性)

- 避難者の区別なく同様に支援してほしい。東京電力の事故なのに（関東圏の人々のため）なのに、福島県人への視線が激しく精神的にきつい。東京で検討、会議するのではなく、福島で、現地で行ってほしい。考えているようにみえない。同じ立場で考えてほしい。  
(避難元：福島市／30代／男性)
- 自主的非難をしているが、金銭的に続くのか不安。福島に戻っても、何年後かに病気にかかるのが心配。わかっているが福島へは戻れない。  
(避難元：二本松市／30代／女性)
- 人生が大きく変わってしまい、息子と2人、途方に暮れています。まだ精神的に、この放射線の大きな波を超えることができません。数年後、福島の子供達（避難者も含め）は皆、元気でしょうか。次から次へと健康に問題が生じてくるのではないのでしょうか…。そう考えると、今、生活再建に努めても無意味な気もしてしまい、毎日生活を細々送ることで精一杯です。  
(避難元：いわき市／40代／女性)
- 東電と政府は同一でしょうから。東電に出した書類の返答が来たが、これは認めてもらいたいと思うものが多く否認された。まだ返答していないが、どうしたらよいかわからない。  
(避難元：南相馬市／50代以上／女性)
- 衣食住の住む場所がはっきりしていないので、その先にはまだ進むことができない人が多いのだと思います。どの段階での帰還を考えるのではなく、今を精一杯生きれるように、住む場所をはっきりして、仕事をして生活できるようにしてほしい。  
(避難元：浪江町／50代以上／女性)
- 今は都営住宅に住んでいますが、お金を払ってでも住ませてほしいです。私は住めなくなればどこかに引っ越し予定ですが、子供がいるので福島には帰りたくありません。原発事故は風化しつつありますが、将来後悔したくないので、確実に安全といえるまで帰れません。  
(避難元：－／－／－)
- 原発周辺住民はほとんど戸建ての広い居室と庭で暮らしてきたので、仮設の公営アパートは狭すぎる。仕事がなく毎日家族が顔を合わせて夫婦喧嘩ばかりで精神が壊れそう。狭い部屋でも2か所借りられればずいぶん救われる。  
財物補償は各戸の現状に応じた査定をするべきで、標準値一律では不公平だ。評価額と築年だけで判定できるものではない。照明器具、衛生設備、建築材料などの品質の違いは相当の差がある。各部屋に洗面設備を備えたり、風呂、トイレが数か所というケースもある。暖炉を備えて薪を2～3年分備蓄している。補助に温水暖房もある。  
償却資産の残高を基準に補償というのも問題。例えばパワーショベル（バックホー）など、型式と製造年式で現在の売買価格で支払うべきだ。  
賠償がとにかく遅すぎる。60才からの人生はいいところ残り僅か、この先の予定を早く立てたい。総額がわからないと動けない。公営アパートにこの先2年無料でいられることしかわからず、その先有料になるのか、退出させられるのか、早く見通しを政府が示さないから、避難者はいつも不安だ。  
(避難元：大熊町／50代以上／男性)
- ①もう1年半が過ぎる。もはや避難者ではなく難民だ！対策、対応全てにわたって政府、与党、野党も何を考えているかわからん。自分達の勢力争いだけだろう、やっていることは  
②とにかく生活を元に戻してほしい。ささやかに自分の作ったものを食べ、子、孫に送る。子、孫に（解読不能）来いよと言えない。小力、山登りなど老後の楽しみ全てダメ。政府はいろいろ理由をつけるんだったら、難民の生活を、家族を含め現地で1か月やってみなさい  
③せめて賠償問題だけでも早急に対応してください。私は仮払いしか受け取っていない。東電の言うことは納得がいけない。まだまだあるが……。  
(避難元：南相馬市／50代以上／男性)

- いろいろなところから似たような調査やアンケートが来る。聞きたいことは一緒なのだから、ある程度政府が調査し、公表するべきだと思う。被災者の現状を政府が把握するためにも必要。  
福島に限らず、各原発立地地域での事故を想定し、どう支援していくのか、どこが避難者をいち早く受け入れるか（どこへ避難すればよいか）、おおよそのガイドラインを設定して、ネットワークを作っておくべきだと思う。原発の再稼働は、安全だけを基準にせず、事故が起きた場合の対応がきちんと考えられてから、再稼働の可否を考えるべきだと思う。このままでは、何か起きたら福島舞の二の舞になってしまうと思う。  
(避難元：楡葉町／30代／女性)
- 避難者支援もさることながら、避難すらできずに今も住んでいる方々へは、何も無いことがどうしても腑に落ちません。結果的に何か症状が出た場合に、補償だけするしかないということに思えてなりません。  
(避難元：いわき市／50代以上／男性)
- ちゃんとした情報を!!ハッキリとした答えを!!  
(避難元：南相馬市／20代以下／女性)
- 本当のことを常に話してほしい。人ごとではなく、自分が私達の立場ならという考えでものごとを発言及び行動を起こしてほしい。もっと20km圏内及び避難者と直接接して、生の声を聞いてほしい。  
(避難元：浪江町／40代／女性)
- 高速道路無料化を継続してほしい。いわきに住めるところを確保してほしい。  
(避難元：大熊町／40代／女性)
- 福島県に残っている人、残らざるを得ない人達の健康、将来まで責任をもってほしい（特に子供達）。  
(避難元：南相馬市／－／女性)
- とにかく東電の対応の悪さ。上から目線的な物言い。意地でも賠償したくないみたいで、請求したものの大半が却下されてしまう。本当に人の気持ちがあわかっていない人間ばかり。担当者に当たり外れがあるみたいで、同じ条件でも対応が全然違うことが困る。  
(避難元：南相馬市／30代／女性)
- 東京電力の無責任な考え方が許せない。  
(避難元：南相馬市／40代／女性)
- 精神的なストレスを少なくする方法を考えてほしい。  
(避難元：浪江町／40代／男性)
- いわき市は区域外で、避難はあくまでも自主的になりますが、実際、原発に近い線引きされた隣の町に住んでいて不安があるため、避難している者もいる。自主的とはいえ、避難にはそれなりの負担があつて、そういう者たちの支援も考えてほしい  
なぜ自主避難しなくてはならなかったのか。好きで家族離れ離れで避難したわけではない。子供が外で思いきり走り回れない。土・葉・木に触れることができない。外で遊んで、触れて、空気を吸って、子供は自然と共に成長すると思う。それができない生活はおかしい。土に触れる子を叱ってしまう親も、自分を責めてしまう。今までの美しい自然を返してほしい。今までの普通の生活を返してほしい。今の避難生活ではお風呂も2日に1度、エアコンなし、なるべくお金を使わない超エコ生活。子供もかわいそうな思いをさせている。何かにつけ「お金がないからガマンして!」が口ぐせになってしまった。避難生活も、今までと変わらぬ生活がしたい。習いごともさせたい。とりあえず自主避難者へ金銭面的な援助がほしい。  
(避難元：いわき市／50代以上／女性)

- 自主避難に対して、賠償金を1度だけ支払って済んだと思わないで！引き続き支援をしてください。政府はここまでのことをして、できる支援といえばお金を払うことくらいしかないと。だからせめて、お金で支援してください。  
(避難元：郡山市／30代／女性)
  
- 国民の命をどう思っているのか？避難区域外だって放射線量が高いところがたくさんあるのに、なぜ避難させてもらえないのか？日本は民主主義国家ではないのか？福島県民は民主主義国家における選択の自由がまったくもって奪われている。子供達の体が心配で避難しているのに、自主避難と呼ばれ、勝手に避難したと言われ、何も支援してもらえない。支援してもらえないどころか、二重生活で出費が増え、赤字になり、そのぶんを1円でも補おうと働けば、実際にはそんなに増えていないのに「収入が増えましたので」と言われ税金が上がり、家賃も上がり、保育料もかかり、ほんの少しの収入超過で就学援助も受けられなくなった。収入が増えたことばかり見られ、それ以上に支出が増えているのに、そのことは全く考慮してもらえない。このままでは飢え死にするしかない。  
確かに避難区域の人は大変だと思う。でも国から避難が許され、少しの額かもしれないが賠償金ももらえ、家族みんなで避難できているのではないかと。自主避難者は何の支援もない挙句、家族もバラバラ。いったいこんなことがいつまで続くのか？心の病気になる人が今後たくさん出てくると思う。とにかく今、早急にお願ひしたいことは、避難者全員、いや、福島県民全員に同じ支援、同じ心的慰謝料の支払いを!!避難者全員に生活支援金を!!  
(避難元：福島市／40代／女性)
  
- 自主避難者に対する支援をしてあげるといい。高速無料に戻してほしい。自主避難者、子供連れで来ている人達を支援した方がいい。  
(避難元：—/—/—)
  
- 政権を取ることばかり考えていないで、被害者（困っている人）のことを真剣に考えてもらいたい。  
(避難元：双葉町／50代以上／男性)
  
- 二重生活者へ交通費の支援をお願いしたい。高速無料は、電車・バスを利用している者には何の意味もありませんでした。自主避難者にも毎月定額の慰謝料を支給してほしい。  
(避難元：いわき市／30代／女性)
  
- 原発の稼働について、国として考え直してはどうか。  
(避難元：楡葉町／50代以上／男性)
  
- 生活支援に関する情報がまず入ってこない。ホームページを見ても結局各省庁のHPに飛び、そのうえよくわからないことばで書かれている。政府も東電もだが、各組織の末端まで支援の情報が行きわたっていない。各省庁から通達があっても、こちらから調べて通達の書面を持って行かないと、自治体は何もしてくれない。  
(避難元：南相馬市／30代／女性)
  
- 完全補償を速やかに実施してほしい。福島での生活と同じレベルの家を建てることのできるような補償金をすぐに払ってほしい。除染はその先でよい。  
(避難元：浪江町／50代以上／男性)
  
- 福島に残っている人も出た人も、それぞれ大変な思いをしていると思います。事情もいろいろです。期待しても無理でしょうが、真実を伝え、事故が起こって今現在に至った責任を東京電力にとってほしいです。そのためには、国が方向性を正しい方へ向けていただきたいと思います。  
福島を「死の町」と言った方がバッシングを受けていましたが、私はその通りだと思います。そこに普通に暮らしている人達がいることをもっと考えてほしいです。このようなアンケートをとっていただいてありがとうございます。どうか福島を忘れないでください。  
(避難元：福島市／30代／男性)



- 今回の東日本大震災および原発事故は、人災ということなので、東京電力・政府はすべての責任があります。避難者1人1人の気持ちを聞き取りスピードをもって1日も早く避難者が元の地に戻って普通の生業ができるように、国民1人1人が避難者の気持ちになって、東電・政府はスピードをもって責任を果たしてください。

私は右の人さし指が不自由なため、思うように字を書けませんのでご了承ください。私は現在68才です。先があまりないので1日も早く元の生業ができるように賠償してください。また、一刻も早く国が除染を行ってください。1日でも早く避難者が元の地に戻って普通の生活生業ができるよう、東電・政府には求めます。

(避難元：富岡町／50代以上／男性)

- 安全・安心を言う専門家や国会のブタさんを福島によこしてください。安心して住めますよ。そしたら他県に逃げて行った福島の人にも戻るはず。公務員の方もぜひ福島にどうぞ。国の復興が福島に移れば復興は早まるし、福島モノを地産地消で福島がうるおう。トップダウンが早く復興がスムーズ。なぜやらない？これをやったら、私はすぐにも戻りますよ。

(避難元：福島市／30代／女性)

- 放射能が完全に除去はできません。それは私達より科学者の方がよくわかっているはず。ロシアの原発事故でもわかるはず。新天地で早く自分の意志で生活したい。浪江の土地・建物を早くどうかしてほしい。できなければ早く放射能をなくしてほしい。1F4号機、燃料プールの燃料を早く正常にして、2、3、1号機を早く解体して放射能を止めてください。4号機の処理が進まないうちは除染してもダメだと思う。

(避難元：浪江町／50代以上／男性)

- 原発は1号機だけでも大変なことなのに、4機はありえない！世界でも例のないこの事態を、日本の政府はどう思っているのか！？たとえ放射線が微量でも、毎月蓄積されていること、正しい知識を教えるべきではないでしょうか！人の命より経済がそんなに大事なのか！まったく腐っている！

お国のために立ち上がる人が誰もいない政治に、選挙ではみんなが投票している。自分達も今度は両目をしっかり開けて信じられる自分達の家族と話し合うべきだと思う。福島をほっぽりだし関電を動かす、子供よりバカげたことを考える政府は、よっぽど自分たちしか考えていない大バカ者である。きっと生きざまが死にぞまで、最後はひどい目に遭うと思う！

県外区域外避難者を、1度だけの賠償（大人8万円、子供60万円）はありえない。精神的賠償は、私達も体育館で2か月過ごし（たのと）同じだ！公平に見てほしい！お米と水くらいは今年いっぱい支援してほしい!!!

(避難元：いわき市／50代以上／男性)

- 東電に対して苦情があります。現在、糖尿病内科、精神内科に通院中（携帯電話番号の記載あり）。

(避難元：いわき市／50代以上／男性)

- エネルギー消費量を国全体で減らす方向づけをしてほしい。そして自然の中の一員であることを自負し、循環の中で（解読不能）させていただくという考え方の方向に舵を切してほしい。

(避難元：—/—/—)

- 生活環境は事故前も事故後も多様です。政府は今一度、人命こそ優先されることだということを考えてほしいと思っています。先の賠償や取引に対するセルフディフェンスにうんざりしてます。そろそろ仕組みのしがらみから脱却する時期だと思っています。

(避難元：宇都宮市／30代／女性)

- 5~6年帰れないと聞いていますので、年金生活者の安住の地をどこにするか。近い方へ行きたいが、それもちょっと、で、茨城辺りかな？早く落ち着いた生活をしたいところです。

(避難元：富岡町／50代以上／女性)

- 住めない家の住宅ローンを払い続けているのはとても苦しいです。帰れないのならば、自分達で好きで避難しているわけではないので、高速道路などで立ち退きになった方のように賠償してほしいです。中古扱いされたのでは、家を建てることもできません。避難生活が長引くほど精神的におかしくなりそうです。

東電の賠償金も不正請求している方がたくさんいるようです。福島に借上げアパートを借りていて、仕事もしていないのに東京の都営も借りて、旅行気分で行き来して、交通費は東電に請求しているのです。賠償金を請求するためにUターンするはずだったのに、震災で帰れなくなったと言い、地元の区長に認証してもらって賠償を請求している人もいます。このような無駄なお金を出しているのはどうかと思います。その費用を除染に回してほしいです。そのように不正している方はやりたい放題です。東電社員も被災者がたくさんいます。社員の家族は何重もの苦しみをしています。そのようなこともしっかり考えてほしいものです。社員であってもしっかり賠償してあげてほしいです。財物を一律ということも、それぞれ持っている物も違うと思います。一戸建てに住んでいた方と町営住宅に住んでいた方とでは、家具なども差があると思います。一律というのはやめてほしいです。

(避難元：大熊町／50代以上／女性)

- 震災時のご相談ありがとうございました。2002年に大熊町で定年後、田舎暮らし移住をする(妻と2人)つもりで準備しながら、大熊町と現在の住所を行き来しており、震災の1週間前に今の所に帰っていましたので(65才時に大熊へ移住するための現在の家の処分等で)避難に対するアンケートに答えられず、申し訳ありません。しかし資金等は大熊町の方に注ぎ込んで計画していたため、現在の生活面(家等も含め)に多く資金を使うことができませんので。できれば大熊町へ帰還したいと願っています(許可が出次第)。この1点にしか答えられず申し訳ありません。今後もご相談時はよろしくお願い致します。

(避難元：-/-/-)

- 政治を司る方々へ 私たちの故郷で生活してください。妻子・ペットも一緒にその土地の農産物を食べ、水を飲み、お洗濯を外に干し、お布団も干し、その生活の中で家を追われた双葉町民の苦しみや意見がご理解できるかと思います。私達はこれから子供達をどこに里帰りさせれば良いのでしょうか。母親の口からいつでも良いから帰っておいでとはもう言えません。私達夫婦が苦労して築き上げてきたもの全て奪われました。返して下さい。

(避難元：広野町／40代／女性)

- 何十年もかけて築いてきた人間関係、安心して暮らせる家、こういうものから断絶した今の暮らし、原発のことを考えるのに疲れた。本音は私の田舎を元通りにしろということ。時間がかかるのならば、避難先でのサポートの充実。物や保障だけでなく、心のサポート。

希望がほしい。私は障害者ですが、事故前は一人暮らしでもさほど不便ではなかった。親戚や友人が病院へ送り迎えしてくれたり、気遣ってくれたり。今は頼れる人が近くにいない。医者を見つけるのも一苦勞。障害のためよく転んだりするが、都内は車・電車が荒しく、危険なので出不精になる。早くボケるのではと心配。役場が戻っても人は戻っていない。これはまだ事故は収束していないということ。見せかけのアピールではなく、現実的な状況を見てサポートを続けてほしい。二重生活への理解を。少なくとも光熱費の基本料無料など。もう戻らない・家や畑を売りたいという人のための不動産窓口を開設してほしい。

(避難元：広野町／50代以上／女性)

- 一度支援したからもう十分というのではなく、長期になり家庭状況も変わればそれにきちんと対応できるシステムにしてほしい。今まで当たり前だった自然・生活・家族でいることは十分に望んでいいことで、戻れて当たり前のこと。それに対してまだまだ不十分だと思う。

できないこと、無理なものは隠さず無理と公表し、その対応策を人として考えるべき。避難している人は物ではなく人間です。温かみのある支援であってほしい。

(避難元：いわき市／30代／女性)

- 政府に期待できない。

(避難元：いわき市／50代以上／女性)

●子供の入園・入学等、区民と同じ様な助成をしてほしい。医療費もタダにしてほしい。今、都営にいます。入居期間ももっと長く住めるように更新してほしい。一年ずつ期間が延びているが、子供の入園などが関わってくると「このまま住めるのか？他を探さないといけないのか？」幼稚園の場所を他の地域も探さないといけないのか？」等、願書をもらいに行ったり、入園説明会に行ったり、本当に入園が決まるずっと前からやらなければいけないことがたくさんあります。それなのに一年ずつの更新だと本当に悩むし困る。子供が学校に入れば、なかなか他に移ることができないのが現状ではないか。手続き等、何かと多いので（住民票は移していません）、もっと分かりやすく何事も簡単にできるよう改善をお願いします。

(避難元：いわき市／20代以下／女性)

●核と人類は絶対に共存することは不可能。これからの子供達へ原発を残してはいけない。我々の世代で清算して次世代へとつないであげたい。「脱原発」福島原発事故からこれからの未来の子のために日本のため地球のために無駄にせず学んでほしい。ふるさとをなくした苦しみ・悲しみはどんなに言葉を集めても表れません。返して下さい。ふるさとを！！

(避難元：浪江町／50代以上／女性)

●二重生活で自宅のローンもあり、生活はとても大変。医療費無料と高速料金無料を延長してほしい。避難による家族間の移動限定など条件付で（月に何回とか）。完全に無料措置を終了されてしまうと、除染もされていない自宅へ帰るしかなくなります。何事もまず、除染が終了してからではないかと思えます。

(避難元：南相馬市／40代／女性)

●自主避難者への支援。高速道路の無料化。（東電に言いたいこと）避難先の電気代を普通に徴収するのはおかしいと思う（事故さえなければ無かった支出）

(避難元：いわき市／30代／女性)

●離散家族に対して国の責任で支援してほしい。自主避難している母親たちが福島に残している家族にどれだけ負い目を感じているか知ってほしい。「避難する権利」があることを声を大にして訴えたい。具体的には、家族に会うための交通費の支給（高速道路、JR（新幹線））。母子家庭世帯と同等の行政サービスを母子避難者に提供してほしい。実質、夫はいても母子家庭のようなものだから。東電の事故で避難しているので、電気料金を払いたくない。

(避難元：郡山市／30代／女性)

●保障をしてほしい。もっと被災者のことを考えた議論をしてほしい。自主避難者の借り上げ住宅の期間を延ばしてほしい。福島の子供のために保養する場と期間を設けてほしい

(避難元：福島市／30代／女性)

●事故後一度も福島を訪ねず、若しくは2~3度福島を訪ねたくらいで「安全だと考えられる」などという無責任な発言をしないほしい。大丈夫なら自分だけでなく家族全員で福島で生活してみなさい！

住居の提供について、入居期間を短いスパンずつ延長していくのはやめてほしい。

(避難元：福島市／30代／女性)

●早く元の生活に戻りたい。

(避難元：伊達市／30代／女性)

●自主避難者の立場に立って考えてほしい。「避難元にはまだ人が住んでいる。線量が低い」ではなく、自分がその人の立場だったら……とを考えてほしい。高速無料化も望んでいる。一人でも多くの人が避難生活を続けられるように、これからでも避難できるように住宅だけでも無料で使わせていただければと思う。贅沢は言いません。

(避難元：いわき市／30代／女性)

●福島県民全員の強制避難命令を出してほしい。経済的に無理でしょうし、半分あきらめています。ですが、何の変りもなく福島市、中通り地方、会津・街がうごく、うごいているのを見ると悔しくてなりません。福島の大地、恵みを奪われたことも、ものすごく悔しいです。これから未来ある子供たちが心配でなりません。1年半近く、事故から月日が過ぎました。国はもちろん、県も何も動いてくれないような気がしてなりません。まず、人の命を1番に考えてほしいです。子供たちの未来を守ってほしいです。地震大国日本で同じようなことが起きれば絶滅です。ガレキを日本全国に散らかさないでください。「被爆健康手帳」の配布をよろしくお願いします。

(避難元：福島市／40代／女性)

●私たち親が安心と思う日まで避難させていただきたい。福島県から子供の数が減るのは仕方のないことだと思っただき、子供の未来を守ってほしい。福島が安全だ！！なんてアピールする前に後々後悔しないような対策をとってほしい。今の福島に必要なものは、子供の未来の確保じゃないのかな。

(避難元：いわき市／30代／女性)

●私たちが3.12(?)以降感じているのは、政府は「何もしない」ということだけです。補償・賠償を全て東電に委ね、推進政策をとってきたことには言及せず、傍観しているようにしか見えません。もう何をしてくれとは言いませんから、不可能な除染はやめ、代わりに私たちに新しい土地をください。子供が安心して暮らせる場所をです。

(避難元：檜葉町／40代／女性)

●高速道路の無料化が終了してしまい、夫の運転する車で時々同乗してきてくれた祖父母にも会う機会が減ってしまった。年々老いていく両親に成長していく孫の姿を見せてあげられなくて切ない。住宅にも期限があるため、一見、生活そのものは落ち着いているように見えていても実際には、毎日が細い針金の上に立たされているかの如く、精神的に落ち着かない日々が続いている。地元では、オール電化の住宅を苦勞して建て、穏やかな生活を送っていました。それが、今や何故、事故を起こした東電にお金を払い、値上げに目をつぶらなければならないのか。私たち自主避難者と呼ばれる人々は、勝手に逃げたものではありません。親として、危険だと判断したからこそ、子供を連れ、夫と離れ離れになることも覚悟で福島を離れたのです。うれしいはずがありません。楽しいはずもありません。しかし、子供のため、今も歯を食いしばって私は生きています。子供の未来のためにです。

(避難元：いわき市／40代／女性)

●福島県内との行き来の交通に関して責任を負ってもらいたい。20km、30km圏内に限らず、圏外からの自主避難者に避難先で行政サービスを受けられるようにしてほしい。県外に避難した人向けのハローワークサービスを行ってほしい。

(避難元：郡山市／－／女性)

●日本が今まで経験したことのない原発事故。これをどう乗り越えるか。人の命を大切にできない日本の政治の在り方に怒りを感じる。党の争いなんてどうでもいいこと。国民の反原発の声を無視し再稼働。日本は何に操られているのか。もともと借金大国日本なんだから、もう原発やる意味はない。

今、お金がかかっていいのは、人の命に関することだけ。それが望み。なんで道路を整備する。優先順位を考えろ。信用できない。私は、地元が街としてダメになったのを見ている。街が死んだ。人と人が信じあえなくなった。みんな外から来た人にやられた。それを1番被害を受けているのは子供たちだ。10年、20年後を担う子供たちがますます減るのではないか。

地元では死ぬ人が多い。その関連性は証明できない。原発を一気に増やしてしまった日本やこの地球に対するツケは大きい。でも、私たちは、犠牲者のまま終わる人生にしたくない！

(避難元：いわき市／40代／女性)

●昨年3月11日から生活はガラッと変わってしまいました。子供は春に新1年生。ランドセル背負い登校するピカピカの子供をずっと夢見ていたのに、あの原発のため、45kmの私たちは避難する道を選びました。まずは私が行動を起こし主人に納得してもらい、私と息子は東京、主人はいわき市に仕事があるので週末に通っています。仲の良かった親子関係だったので、離れて暮らす生活は経済的にも精神的にもかなり辛いです。もっと自主避難者にも生活支援をしていただきたいと心から願います。母子が知らない土地で支援もなく生活するには、母も子供もかなりのストレスを抱えて生活しています。避難者に対して何も感じていないのか聞いてみたいです。私たちの声に耳を傾けて一つひとつ支援づくりをしていただきたく、お願い申し上げます。

(避難元：いわき市／40代／女性)

●政府に何を言ってもだめでないかしら。自分たちのことだけが大切なようですね。

(避難元：南相馬市／－／女性)

●国に言っても東京電力に言っても変わらないと思います。寂しいことですネ

(避難元：石巻市／50代以上／男性)

●原発から8kmで富岡町の住民です。東京電力は以前から事故は絶対にありえないということを常々申し上げており、その言葉を信じてきました。いざ3.11で地震があり、東京電力は冷却不十分で水素爆発を起こし、放射線を広範囲にまき散らし、現在に至っています。原子力発電は経済発展には欠かせないかもしれませんが、事故が発生すると何もかも失くし、損害賠償も大変なことです。将来は原発に代わる方法で考えたいものです。

(避難元：富岡町／－／男性)

●なぜ自主避難しなくてはならなかったのか。好きで家族離れ離れで避難したわけではない。子供が外で思いきり走り回れない。土・葉・木に触れることができない。外で遊んで、触れて、空気を吸って、子供は自然と共に成長すると思う。それができない生活はおかしい。土に触れる子を叱ってしまう親も、自分を責めてしまう。今までの美しい自然を返してほしい。今までの普通の生活を返してほしい。

今の避難生活ではお風呂も2日に1度、エアコンなし、なるべくお金を使わない超エコ生活。子供もかわいそうな思いをさせている。何かにつけ「お金がないからガマンして！」が口ぐせになってしまった。避難生活も、今までと変わらぬ生活がしたい。習いごともさせたい。とりあえず自主避難者へ金銭面的な援助がほしい。

(避難元：いわき市／40代／女性)

●たくさんあり書けない。

(避難元：福島市／30代／女性)

●自主避難してきている人たちはみんな理由があって苦しみながらがんばっているので無視しないできちんと話を聞いてほしい。出来る限り支援もしてほしい。高速無料化も本当に助かっていたのに、打切りになってしまって悲しい。代案もなにもなく私達を切り捨てないでほしい。

(避難元：福島市／40代／女性)

◆ 配布したアンケート

アンケート

東京災害支援ネット（とすねっと）

（各質問に対し、あてはまるものを○で囲むか、□に☑をし、空欄には回答を記載してください。今後行政などに要請する際の参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。）

回答日：2012年 月 日

● 避難元、避難先等について

(1) あなたは、原発事故による避難者ですか？ 避難元（地元）及び避難先の市町村はどこですか？ あなたと一緒に避難している家族の構成を教えてください（具体的に）。なお、区域の種別も教えてください。

① はい 避難元（ ）市・町・村 避難先（ ）市・町・村

・区域の種別（あてはまるものにマルをして下さい）

警戒区域・旧緊急時避難準備区域・帰還困難区域・居住制限区域・解除準備区域・区域外

・私：（ ～20・30・40・50～代 ）の（ 男性・女性 ）

・一緒に避難している家族：祖父・祖母・父・母・配偶者・兄弟姉妹・子供（ ）人・親戚・その他（ ）

・一緒に避難している家族に子供がいる場合、子供に関する詳細を教えてください

未就学児 \_\_\_\_\_ 歳 ・小学生・中学生・高校生・大学生 \_\_\_\_\_ 学年

② いいえ

(2) 避難によって、避難前に同居していた家族と離ればなれになっていますか？ はいと答えた方は、離れて暮らす家族とその方の今の滞在市町村も教えてください。また、あなたの現在の滞在地はどちらですか？

① はい 離れて暮らす家族（ ） 滞在先（ ）県（ ）市・町・村

② いいえ

③ 現在の滞在地（ ）

● 住宅問題について

(3) 避難先の住居について教えてください。

避難先の住宅の種類

公営住宅  民間借上げ住宅  雇用促進住宅  その他 ( )

( ) 階建て エレベーター ( 有  無) 築年数 ( ) 年位、部屋数 ( ) 室

(4) 避難先の住居に日常生活に必要な以下の設備が備え付けてありましたか？

(あったものに○、なかったものに×を付けてください)

また、日常生活で必要だが、備え付けてなかったために購入したものはありますか？

カーテン 蛍光灯 ガスレンジ テーブル いす 洋服ダンス 風呂

風呂用給湯器 シャワー 流し用給湯器 エアコン その他の冷暖房機器

その他 ( )

購入したもの ( )

(5) 住宅設備について、困っていること(階段の昇降が大変、シャワーがない等)、不足している、または、欲しい物がありますか？ある場合、具体的に教えてください。

① ある ( )

② ない

(6) (みなし) 仮設間での住宅の移動の希望はありますか？また、移動を希望する場合の理由を教えてください。

① ある ( )

② ない

● 高速道路問題について

(7) 離れて暮らす家族と再会するための今の交通手段は？3月までと変わりましたか？

今の交通手段は ( 車 電車 バス その他 ( ) )

3月までは ( ) / 今と同じ )

(8) 区域外避難者に対する高速道路の無料措置が今年4月に打ち切れ、離れて暮らす家族と会う回数はどうなりましたか？

- ① 減った    ② 増えた    ③ 変わらない

(月 回 が 月 回に)

(9) 今年4月以降、離れて暮らす家族と会うための交通費はどうなりましたか？

- ① 増えた (増加額は月額約 円)    ② 減った    ③ 変わらない

● 健康問題について

(10) あなたのご家族の中で、甲状腺検査を受けた方はいますか？ 受けた場合は、どなたが、いつ頃、何回受けましたか？ また、その検査は無料でしたか？

- ① 受けた方 ( ) 回 年 月頃    有料    無料

- ② 受けていない

( 受けなかった理由：例えば費用がかかりすぎる等 )

(11) 甲状腺検査を受ける場合、何かご要望はありますか？ (例えば、県外でも無料で受けられるようにすべき等)

( )

(12) あなたのご家族の中で、ホールボディカウンタ検査を受けた方はいますか？ 受けた場合は、どなたが、いつ頃、何回受けましたか？ また、その検査は無料でしたか？

- ① 受けた方 ( ) 回 年 月頃    有料    無料

- ② 受けていない

( 受けなかった理由：例えば費用がかかりすぎる等 )

(13) ホールボディカウンタ検査を受ける場合、何かご要望はありますか？ (例えば、県外でも無料で受けられるようにすべき等)

( )



(14) 避難生活をされていて、健康状態（精神的な状態も含む）で、不安な点はありますか？ ある場合は、どのような点ですか？ 差支えない範囲で教えて下さい。

- ① ある (
- ② ない

● 生活全般について

(15) 避難生活をされていて、避難生活前より生活費や医療費が増加していますか？ 増加している場合、増加額は月額どのぐらいですか？ また、生活費や医療費の増加の主な理由を教えてください。

<生活費>

- ① 増加していない
- ② 増加している \_\_\_\_\_ 円くらい

主な理由：)

<医療費>

- ① 増加していない
- ② 増加している \_\_\_\_\_ 円くらい

主な理由：)

(16) 将来の医療費に不安がありますか？不安がある場合その理由を教えてください。

- ① ある ( 理由：)
- ② ない

(17) 避難の前後で世帯収入の増減はありましたか？ また有る場合、具体的にどの程度か差支えない範囲で教えてください。

- ① ある ( 月額 \_\_\_\_\_ % 増・減 )
- ② ない

(18) 避難先の自治体でのサービスに不満な点があれば教えてください。

・子どもの教育について

( )

・保育について

( )

・医療・介護等について

( )

(19) 避難先での就労支援は必要としていますか？ 必要な場合はどのような支援が必要と思うかできるだけ具体的に教えてください。

① 必要 ( )

② 不要

(20) 二重生活の場合、現在の勤務先から避難先に近い場所への転職は考えていますか？ 考えている場合はどのような支援が必要と思うかできるだけ具体的に教えてください。

① 考えている  
必要な支援：

( )

② 考えていない

● 帰還について

(21) 避難元へ帰る事を考えていますか？ 考えていない場合その理由を教えてください。

① 考えている

② 考えていない ( )

(22) どの段階で（なら）帰還しますか？ その理由を教えてください。

[ ]

● 除染について

(23) 避難元または避難先の自治体が行う除染計画に対する要望があれば教えてください。

[ ]

● 自由欄

(24) 原発事故避難者に対する生活支援について、政府に言いたいことを自由にお書き下さい。

[ ]

ご協力ありがとうございました。

<送り先>

(郵送の場合) 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-14 SK90ビル302

森川清法律事務所内 とすねっと事務局

(ファクスの場合) 03-6913-4651 (東京災害支援ネット (とすねっと) あて)

避難生活の実態に関するアンケート調査結果報告

2012（平成24）年9月28日発行

東京災害支援ネット（とすねっと）

代表 弁護士 森 川 清

(事務局) 〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-14

SK90ビル302 森川清法律事務所内

電話 080-4322-2018